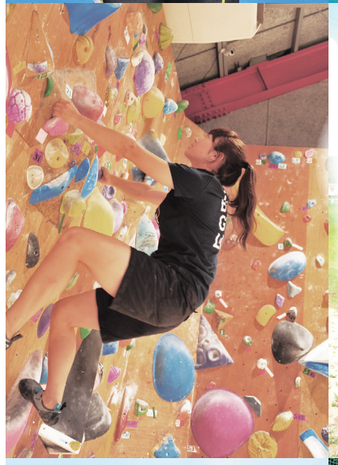
東京オリンピック・パラリンピック2020

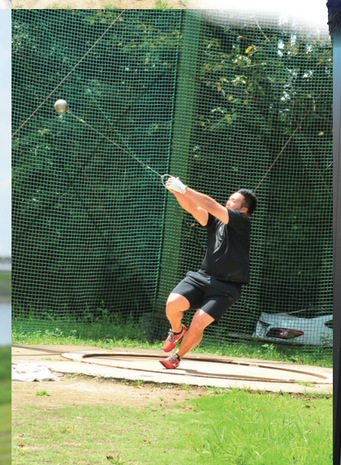
連載特集　第2弾



SPORTS & ATHLETES in KARIYA

来年7月に開幕する東京オリンピック・パラリンピックの競技には、テレビや新聞などで目にすることの多いものから、あまり知られていないものまで、さまざまな競技があります。

今回はいろいろな競技で活躍している刈谷のアスリートたちを取り上げ、彼らの強みやちょっと意外な一面を紹介します。また、それぞれの競技の見どころや魅力を語ってもらいます。



ハンマー投げ　墨（すみ） 訓熙（くにひろ） 選手（25）

小林クリエイト㈱所属。第102回日本陸上競技選手権大会優勝など数々の成績を収め、2018日本グランプリシリーズ男子ハンマー投げ部門１位を見事獲得。また、第23回アジア選手権大会出場など国外でも活躍し、これからの日本ハンマー投げ界を背負って立つ選手の１人。

東京＆パリ五輪ダブル出場を目指します！

墨選手の“ここが自慢！”

筋力！

トレーニングではスクワットを重視していて、270kgの重りを担いで鍛えることもあります。ハンマー投げに重要な腕の筋肉にも自信があります！

大人２人を軽々待ち上げます！

墨選手に聞く！ハンマー投げの魅力

気合で投げるイメージが強いですが、実はハンマーの位置による力のかけ方、タイミングなどの技術面が非常に重要なハンマー投げ。体が小さくても、技術力があれば記録につながります。

また、よくハンマー投げの選手が投げた後に大きな声を出している姿を見ると思います。あれは、自分の中で記録が出たと思った瞬間です。選手が大きな声を出したときは、記録に注目してみてください。

スポーツ課職員も挑戦！

上手く回せない…。

持ち上げるのも大変！

球の重さはなんと16ポンド(7.26kg)！

トライアスロン　谷口（たにぐち） 白羽（しるば） 選手（25）

トヨタ車体㈱所属。2017アメリカンカップ優勝、NTT ASTCトライアスロンアジアカップ優勝など、国内外で優秀な成績を収める若手有望選手。

白羽という名前は、F1名ドライバーのアイルトン・セナ・シルバに由来している。

オリンピックへの通過点でもある10月の日本選手権優勝に向け、全力疾走中！

谷口選手に聞く！トライアスロンの魅力

トライアスロンはスイム、バイク、ランの３つの種目で構成されています。選手によって種目の得意不得意があり、例えばスイムで後れを取っていた選手が、ランで追い上げてくることもあります。どんなレース展開になるか、最後まで目が離せません！

谷口選手の“ここが自慢！”

笑顔とポジティブシンキング！

2年前ヘルニアを患い、競技を続けられるかどうかの瀬戸際でしたが、リハビリの末、復帰することができました。今では「その経験があるから今がある」と思えるようになりました。壁にぶつかった時もポジティブに考え、笑顔で乗り切っています！

趣味はショッピング！

トライアスロンは海外での試合が多く、シーズン中は多い時で月に1、2回海外へ。その際によくショッピングをします。アメリカ遠征時にはたくさんの服を買い込んだことも…。